

中小企業のトレンド(第22回)

自社に適した週休3日制が広がり始めた

2017.04.20

完全週休2日制を超え、1週間に3日の休日を社員に与える企業が増えてきた。10時間で4日勤務、成績優秀者に自由出勤日を与えるなど、やり方はさまざま。人手不足の中、社員の採用および定着面での効果を狙った取り組みとして注目される。

ユニクロやKFCが部分的に導入

週休3日制を導入した主な企業の事例

ファーストリテイリング	転勤のない「地域正社員」の希望者に、1日8時間×週5日勤務か、10時間×週4日を選択可能に。給料は同じ
日本KFCホールディングス	1日の労働時間や1週間の勤務日数を、社員の要望で決める「時間限定社員」制度を導入。給料は労働時間に応じて
ウチヤマホールディングス	有料老人ホームの週休3日制希望者が多いフロアで、1日10時間×週4日の勤務を導入。給料は変わらず
シーエーセールススタッフ	一定の成績を上げた社員に対し、週1日自由に勤務できる日を設ける。会社に来る義務はない

上の表に週休3日制を導入している主な企業を掲げた。大企業では、ファーストリテイリングが地域限定の正社員に、日本KFCホールディングスが短時間勤務の正社員に、それぞれ導入している。

全国約80カ所で有料老人ホームなどを経営するウチヤマホールディングス(北九州市)も、導入企業の1つ。同グループは介護部門で約1700人の正社員を抱えている。内山文治社長は、「介護事業の人手はいくらあっても足りない。スタッフにはシングルマザー・ファザーもあり、こうした人が子どもと接する時間が増えるようにと、2015年12月から始めた」と話す。

具体的には、1日8時間/週5日勤務に加え、1日10時間/週4日の勤務形態を設けた(休憩時間は除く)。給与は同じ。導入は各老人ホームのフロアごとに週4日勤務の希望を尋ね、希望者が多かったフロアで導入。週5日勤務の希望者は異動させる配慮もした。

年配者からは不評も… 続きを読む